

はじめに

本校は、明治6年6月22日、葉鹿小学校として開校以来、本年6月で創立149年目を迎えます。その間、葉鹿町立の時代や坂西町立の時代を経て、昭和37年に足利市立葉鹿小学校となり現在に至ります。

本校の位置する葉鹿地区は足利市の西部にあり、北は山地に囲まれ、東に松田川、南に渡良瀬川が流れる自然豊かな土地柄です。近年は、住宅の増加や中規模店舗の進出等、都市化の傾向を呈してきています。地域の方々の学校に対する大きな期待と熱い教育愛に支えられ、葉鹿小学校は長い歴史と伝統を築いてきました。昨年度には、地域の方々に結成された校歌顕彰実施委員会のご尽力により、校舎西側ロータリー内に校歌碑が建立されました。わたしたちは、地域とのつながりを強く意識して、本校の教育をさらに発展させていかなければならないと思いを新たにしました。

令和2年4月、入学式で新入生を迎えた翌日からの臨時休業。不安でスタートした昨年度でした。分散登校を経て、6月からようやく始まった学校生活でしたが、子どもたちにとっては戸惑いでいっぱいだったのではないかと思います。私たち教職員も、子どもたちの元気な表情に支えられながら、子どもたちに安全な学校生活を送らせることだけを考える毎日でした。児童にとっては大きな夢や希望をもって迎えた新年度の生活も、数々の制限の中で、我慢の連続だったことでしょう。運動会の延期、遠足や修学旅行も方面を変えての実施、全校児童での交流活動もいつもの年とは違った形でしか行えませんでした。そのどれもが、葉鹿小学校の全員にとっての一番大切なものを守るためのものであり、皆で考え皆で精一杯活動してきた、そんな一年間でした。

そのような中で、本年度（令和3年度）がスタートします。わたしたちは、子どもたちに安心して学校生活を過ごさせるとともに、喜びや達成感を十分に味わわせなければなりません。前年度より実施された学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた教育活動を計画し、着実に実施していきたいと考えています。これからの時代を生きる子どもたちに対し、確かな学力を育成するとともに、豊かな心や健やかな体を育み、「生きる力」を身に付けさせていきたいと思っています。そのために、「子ども中心の学校」「学び合い、ともに育つ学校」「開かれた活力ある学校」「安全で安心な学校」を目指す学校像と掲げ、本校学校教育目標のさらなる具現に迫っていきたいと考えています。

私たちは、子どもに寄り添い一人一人を認め伸ばせる教師、子ども・保護者・地域から信頼される教師を目指しつつ、常に指導力の向上に努め、組織の一員としての同僚性を発揮しながら日々の教育活動に当たっていきたくと考えています。そのことが、子どもたちにとって「明日が待たれる学校」に必ずやつながっていくものと信じています。

令和3年4月1日

足利市立葉鹿小学校長